



2026「JCF 公認 Coupe du Japon MTB」共通テクニカルガイド

Ver.20260131

Coupe du Japon MTB（略称；CJ）とは

公認全国大会として、国際自転車競技連合(UCI)の基準をベースに、オリンピック、世界選手権大会、ワールドカップなどへの参加枠を獲得し国内競技者の競技力向上のための登竜門的な位置づけとして開催するもので、国際登録大会を含めて全国大会を構成します。国際全6大会についてはUCIコンチネンタルシリーズ対象大会が1大会（これは上位者にワールド・カップへの参加資格が発生）、またアジアマウンテンバイクシリーズ3大会が含まれます。これらは2025年度よりUCIが設定したワールド・カップについての参加資格を厳格化したことでより一層重要なものになります。

各競技者はJCF登録およびチーム登録を行い、ランキング制度への参加と、傷害、賠償責任保険加入により、より競技性と、安全性を高めたものとなります。
毎年おおむね4月から10月頃までをシーズンとして、成績によって国内ポイントやUCI国際ポイント、アジアシリーズポイントなどが与えられ、その集計により翌年度のカテゴリー昇降格や、連盟による強化指定選手への選抜、国際大会派遣選考などの参考ともなります。

レースカテゴリーはUCI基準の他に国内カテゴリーを開催し、ユース層のタレント発掘から、マスタース層の生涯スポーツの推進としても機能するナショナルシリーズとなり、国際登録大会においては、同様にポイントの獲得や選手強化の一環として海外からの競技者受け皿として機能し、国内競技会の国際化、競技力向上の役を果たしてきています。
また、各会場地では、観光も相まった、スポーツツーリズムとしての連携により地域活性化のひとつとしても開催の定着をはかります。

Coupe du Japon MTBは国際自転車競技連合（以下UCI）規則に従って行われる国際大会等の国内で開催される公益財団法人日本自転車競技連盟公認大会、およびアジアシリーズ（一部）です。本ガイドはシリーズ共通事項を取りまとめたもので、UCI国際登録大会など各個別の大会要項が優先されます。

1. 大会名称
Coupe du Japon MTB（クップ ドュ ジャポン MTB）
「Coupe du Japon MTB * * * * *」 *各大会名称の標記
- 1.2. 大会クラス
① UCI公認国内開催大会（CJ-U）
② 全国レベル公認大会（CJ-I）
- 1.3. 主催
開催地実行委員会等（開催地競技大会主催）、
一般社団法人MTBリーグ（シリーズ統括競技主管）
- 1.4. 公認
公益財団法人日本自転車競技連盟
国際自転車競技連合（愛知、八幡浜、松山、深坂、吉無田大会）
UCIコンチネンタルシリーズ（八幡浜大会）
ACCアジアマウンテンバイクシリーズ（愛知、八幡浜、松山、深坂、吉無田大会）
- 1.5. 後援（予定、申請中）
公益財団法人JKA、開催都道府県自転車競技連盟、一般財団法人日本自転車普及協会、
一般財団法人自転車産業振興協会、一般社団法人自転車協会、ほか
- 1.6. 協賛
シマノセールス株式会社、株式会社オージーケーカブト
- 1.7. 協力
各会場にて予定

1.8. 会場
2026 カレンダー参照 (<https://mtb-l.jp/calendar/events2026/>)

1.9. 開催期日
2026 カレンダー参照 (<https://mtb-l.jp/calendar/events2026/>)

* 会場、および開催期日についてはやむを得ない特別な事情があるときにウェブサイト等に掲載して変更を行う場合がある。この場合でも、理由の如何を問わず、大会エントリー費について返還することを行わない。

2. 開催競技種目
UCI 規定の種目、および国内設定種目から一部が行われる

① エンデュランス系

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| ・クロスカンントリー・オリンピック (XC0) | ・クロスカンントリー・エリミネイター (XCE) |
| ・クロスカンントリー・マラソン (XCM) | ・クロスカンントリー・ステージレース (XCS) |
| ・クロスカンントリー・ショートトラック (XCC) | ・クロスカンントリー・リレー (XCR) |
| ・クロスカンントリー・タイムトライアル (XCT) | ・クロスカンントリー・P t o P (XCP) |
| ・クロスカンントリー・エンデュランス | |

② グラビティ系

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| ・ダウンヒル・インディヴィデュアル (DHI) | ・ダウンヒル・マラソン (DHM) |
| ・フォア・クロス (4X) | ・スノーダウンヒル |
| ・エンデューロ (END) | |

③ その他

- | | |
|----------|-------------|
| ・パンプトラック | ・E-マウンテンバイク |
|----------|-------------|

* 種目により年間ランキングポイントの対象とならないものもある。

3. 競技者クラス
次の公認クラスを男女とも設定する。

A:UCI カテゴリ

- ① エリート； エンデュランス系 19 歳以上（含 U23；19～22 歳）2007 以前生まれ）、
グラビティ系 17 歳以上（含 ジュニア；17～18 歳）2009 以前生まれ）。
- ② ジュニア； 17 歳および 18 歳（エンデュランス系のみ 2008-2009 生まれ）

B:JCF カテゴリ

- ③ マスターズ； 35 歳以上（1991 年以前生まれ）の競技者でこのクラスを選択した登録者。
35+, 40+, 50+, 60+ の表彰設定あり。
UCI に登録されたチーム所属ライダー、および、UCI 個人ポイントを獲得ライダー
は除外される。
- ④ ユース； 13～16 歳。2010-2013 生まれ
- ⑤ アドバンス； 19 歳以上（中級者クラス）2007 以前生まれ
- ⑥ チャレンジ； 19 歳以上 2007 以前生まれ

C:カデット, キッズ； 12 歳以下のクラス。2014 以降生まれ

これらのクラスの実施については開催地主権者により行われ、UCI カテゴリ、JCF カテゴリでの名称と異なったもの（例：小学生高学年クラスなど）にて行われる場合がある。臨時登録が行なわれる場合でも参加者の傷害保険加入については主催者に責任がある。


* 12 歳以下の競技者はインターロッキング・システム無しのフラットペダルを使用しなければならない。UCI 6.1.079 トウクリップなども含まれる。学年別などのクラス混走の場合については別途各主催者による大会要項で定められる。

4. 競技規則
大会は最新 UCI（国際自転車競技連合）競技規則および JCF（公益財団法人日本自転車競技連盟）競技規則および大会特別規則（共通テクニカルガイドを含む）による。

5. 参加資格、手順
本年度有効な UCI 加盟国連盟発行の競技者ライセンスを所持し、マウンテンバイクチーム登録がされている競技者。UCI 登録チーム、ナショナルチーム等については別途定める。
ただし公認クラス以外の大会主催者が設定するクラスへは各大会時の臨時登録により参加できる。
これらの区分については各大会テクニカルガイドによる。

参加資格を得たものは、各大会の参加手続きを期限内に行うことで各大会への参加が承認される。

- 5.1. ライセンス
UCI 加盟国連盟の有効な競技者ライセンスが必要。日本では公益財団法人日本自転車競技連盟が発行する。手続きについては次のサイトより行う。
JCF 登録について
<https://jcf.or.jp/official/registration/>
- 5.2. マウンテンバイクチーム登録
チーム登録については、登録サイトによりチーム代表者（競技者が代表も可）が手続きを行う。
チーム登録について
<https://mtb-l.jp/>
- 5.3. 参加費（参加競技者負担金）
各開催地大会主催者は、設定された参加費を徴収する。グラビティ系競技（ダウンヒル）等においては別途搬送用リフト費用が発生することがある。
- 5.4. チーム登録および各大会参加については下記の項目について遵守、許諾するものとする。
- ・ UCI（国際自転車競技連合）、公益財団法人日本自転車競技連盟競技規則およびテクニカルガイドに従って行動し、全ての行動に責任を持つこと。
 - ・ 競技参加にあたり、ある程度の危険が伴うことを理解し、競技中、競技に関連して起こった障害、死亡、事故等で受けた損害に対し、主催者及び公益財団法人日本自転車競技連盟、一般社団法人MTBリーグ、共催者、大会役員、会場管理者、参加競技者、関係する諸団体にに対し非難や責任の追及、または損害賠償の請求はできないこと。
 - ・ 主催者及び公益財団法人日本自転車競技連盟、一般社団法人MTBリーグが大会に関わり随時認める第三者が、すべてのメディアにおいて、競技に関わり制作されるビデオ、写真、また、参加に際し自身またはチームが提供した氏名、映像、写真、および経歴等の資料を、永続的に使用すること。
 - ・ 主催者及び公益財団法人日本自転車競技連盟、一般社団法人MTBリーグが大会に関わりテレビ、ラジオ、映画及びインターネット等を含むすべてのメディアにおいて上記の記録・資料等を放送、放映、及び公開することがあること。
 - ・ 主催者及び公益財団法人日本自転車競技連盟、一般社団法人MTBリーグが上記の記録・資料等の使用について、自身がいかなる利益をも有していないこと。
 - ・ コース以外の場所については最徐行し、交通規則を遵守し、不必要な走行は行わないこと。
 - ・ 会場内の全て、関連した宿泊その他の施設において、常時清潔に保つように心がけ、ごみ等は必ず持ち帰ること。
 - ・ 国及び行政、または関係団体による感染症拡大防止施策について理解し、これらを遵守すること。
6. チーム
- 6.1. チームの構成
マウンテンバイク・チームはJCF公認Coupe du Japon MTB大会に参加することを目的に、次の者から構成される団体である：
最少1名からの有効なJCF/UCIライセンス（年間）を所持する13歳以上の競技者で、各クラスに該当する者、および、代表登録役員。（競技者と役員は兼務が可能）
プレミアチームについては10名を上限とする。
- 6.1. チームの名称
チームの名称には、他のチームまたは団体と**明確に区別できる固有の正式名称**を持たなければならない。チーム名称は、暦年中に変更することは出来ない。チーム名の最大文字数は日本語、英語表記とも30バイトである。
- 6.2. チーム登録者の条件
競技者全員が、年度有効なJCF登録者（手続き中を含む）、またはUCI加盟国連盟の有効な登録者であること。競技者は、暦年中に常に一つのチームにのみ所属することができる。
チーム役員は、UCI加盟国連盟登録コーチ、JCFチームアテンダント、公認審判員、運営サポーターまたは、日本スポーツ協会公認コーチ、指導員の資格取得を強く推奨し、将来的に必帯とされる。
- 6.3. 登録
チームは毎年度、登録手続きを行わなければならない。
チーム及びその構成する競技者は、参加資格認定および保険適用確保のために**各出場大会の開催前月までにチーム登録がされている必要がある**。納入された登録費、保険料について返金を求めること、他者への譲渡などはできない。登録がされていない競技者について主催者または連盟は参加を拒否する権限を有する。その場合においても参加費の返還は行わない。また参加が承認されても遅延チーム登録における保険適用を保証するものではない。

- 6.4. 保険
チーム登録競技者は、MTBリーグの管理下（主催、主管、公認等）での傷害保険および賠償責任保険に加入する。（<http://www.sportsanzen.org/>）補償対象については保険会社の約款による。
プロフェッショナル競技者等は補償対象外の場合がある。
登録申請遅れや保険加入がされていない競技者が大会に参加申請する場合には、別途保険料が開催地主催者により徴収される場合がある。
- 6.5. チーム臨時登録
UCI 加盟国連盟登録競技者が、大会参加を目的とする場合に臨時チーム登録を行うことができる。種別はナショナルチーム、UCI チーム、各国連盟登録チーム、個人である。
この参加者等の保険についてはそれぞれのチーム、競技者の責任による。
- 6.6. プレミアチーム
プレミアムチーム 登録基準
当該年度の最低1名のエリート登録者、または登録時点でUCI 個人ランキング保持者を最低1名を有すること。プレミアムチームの登録は毎年5月末日までとする。
- 6.7. チームジャージ
プレミアムチームは、登録の提出時に、各チームのチーム・ジャージの彩色、レイアウトデザイン、スポンサーのロゴを含めて提出する。この規則はグラヴィティ系プレミアムチームには適用しない。男子用と女子用の色彩は異なってもよいが、この場合2つのデザインを提出すること。
広告に関しては、UCI 規則 1.3.037, 1.3.048 による。
プレミアムチームは、そのジャージ、アフターウェア、車両にプレミアムチームのエンブレムを表示することができる。
- 
- 6.8. チームの権利
登録したプレミアムチームは、公益財団法人日本自転車競技連盟チーム登録規程第4条にある権利を有し、次のような恩恵が受けられる：
- この条項はそのサービスが確定した時点で発効される。それまでの間におけるこのようなサービスについては各主催者により有償または無償で提供されることがある。
- ・プレミアムチーム・フィードゾーン・パス（既実施済み）
 - ・フィードゾーンにおける、セパレートされたスペース（既実施済み）
 - ・情報サービスと発表（既実施済み：<http://mtb-l.jp/>）
 - ・公認大会における技術スペースの提供（有償提供中）
 - ・チームあたりX台のチーム専用駐車場パス（有償提供中）
 - ・主要なイベント会場におけるニュートラルサービス

6.9

毎シーズンごと登録については2月に開始され、シリーズ最終大会の開催時に終了します。

・スタンダード・チーム

JCF 競技登録者による構成（昨年度の競技成績は問わない）

チーム登録費 チーム年会費 3,000 円 (1 チームあたり)
所属競技者 1,000 円+2,000 円 (1 名あたり)
(傷害、賠償責任保険料が含まれます。中学生保険料 1,450 円)

・ プレミア・チーム

JCF 競技登録者で、次の者が1名以上所属しなければならない。

- ・当該年度UCI登録チーム所属競技者 または、
- ・当該年度UCI個人ランキング保持者 または、
- ・当該年度エリート登録者

チーム年会費 20,000 円 (1 チーム)
所属競技者 1,000 円 + 2,000 円 (1 名あたり)
(傷害、賠償責任保険料が含まれます)

競技者の追加登録について（11名以上のチーム登録の場合はこちら）

競技者の追加登録については、サイトよりスタンダード・チーム登録手続きと同様に同じ代表者が同じチーム名、チーム情報を入力した後に、通常通り手続きを行う。

競技者追加手数料（プレミア／スタンダード共）	3,000 円	（1 件）
所属競技者	2,000 円	（1 名、中学生 1,450 円）

競技者のチームからの退団について

- ・チームからの退団：チーム代表者よりメールにて次の情報を送付する。
チーム名、代表者名、代表者連絡先、対象競技者名、対象競技者連絡先、退団理由
メール題名：「チーム登録者退団届」 info@mtb-jp

※注1;チ一ム登録費算出例;

- ケース1 スタンダード: 競技者3名、1名のマネージャーの場合
 チーム年会費3,000+(競技者3名×@1,000)+(保険料3名×@2,000)=12,000円(スタッフ登録費不要)
 ケース2 スタンダード: 競技者1名、1名のマネージャー(競技者マネージャー兼務)の場合
 チーム年会費3,000+(競技者1名×@1,000)+(保険料1名×@2,000)=6,000円
 ケース3 プレミア: 競技者1名の追加の場合
 追加手数料3,000+(競技者1名×@1,000)+(保険料1名×@2,000)=6,000円
 各ウェーブ決済手数料、通信費等は含まれません。

※注2;加入保険は「スポーツ安全保険」C、B、AWとなります。内容はチーム所属選手を対象にMTBリーグ管理下(主催、主管、公認等マウンテンバイク大会)での事故により本人が傷害を被った場合、保険金額(死亡(最高)3,100万円、後遺障害(最高)4,650万円、入院1日につき最高)5,000円、通院(1日につき最高)2,000円。いづれも最上限区分の場合。賠償責任保険として支払限度額(対人対物賠償合算1事故5億円、ただし対人賠償は1人2億円)。登録日より保険加入手続きが済んでいない場合は適用されず、大会への参加ができない、または別途保険加入のための保険料の徴収がある場合があります。スポーツ安全保険は加入団体ごとの団体保険であり、他の団体でスポーツ安全保険に加入している方も本登録を申請される際は掛金が必要です。また、登録終了しても保険約款により対象とならない場合があります。詳しい内容は、「スポーツ安全保険」の約款等を優先しますので参照ください。
<http://www.sportsanzan.org/>

※注3;JCF登録時の保険内容(個人賠償責任補償)については下記を参照のこと。
<http://jcf.or.jp/>

※注4;臨時登録では各保険対象とはならないので各自保険加入を行うことが必要。

※注5:エリート競技者が所属していてもスタンダードチームの登録が可能。

6.10

原則、シーズン中の他チームへの移籍はできない。

但し、移籍元と移籍先の双方代表者の了承がある場合には認められる。移籍については、現登録チーム代表者よりの退団届け、および新たにチームへの追加登録（当ガイド6.9）が必要となる。

移籍に関する手続きは、移籍したチームの選手が移籍前のチームの選手として参加する。移籍したチームの選手は、移籍前のチームの選手として参加する。移籍したチームの選手は、移籍前のチームの選手として参加する。

7. ランキング
公認クラスにおいて個人ランキングを作成する。
- 7.1. Coupe du Japon ランキング (個人)
- ① ランキング作成は次の通り
 - ・ エンデュランス系 (クロスカントリー) 各クラス
 - ② 当該年度の CJ-U または CJ-1 の高得点大会の該当種目を集計してランキングとする。
 - ③ ポイント集計とする対象大会数は、当該年度の CJ-U、CJ-1 の大会合計数に 65% を掛けて算出された大会数 (小数点以下は切り上げ) の上位ポイントから算入する。但し大会合計数が 3 大会以下の場合には 3 大会とする。 (集計対象とならない大会がある場合がある)
同ポイントは全日本選手権大会上位、以降 CJ-U、CJ-1 直近大会上位を優先。
 - ④ ポイント表 別表
クロスカントリー・オリンピック開催時での事前のタイムトライアル、ショートトラックおよび、ダウンヒルでのクオリフィケーションについては、それらの合計ポイントを、その大会でのクロスカントリーおよびダウンヒルそれぞれの獲得ポイントとする。
 - ⑤ クラス変更があった場合、ポイントの移行は出来ない。
 - ⑥ エンデュランス系ランキングの男子エリート上位 6 位、女子エリート 3 位を翌年度の固定ナンバーとする。
 - ⑦ リーダー・ジャージ
エンデュランス系ランキングにおいてシーズンを通して任意の該当クラスの個人ポイント首位競技者にリーダー・ジャージを贈る場合がある。この場合には該当競技大会においてリーダー・ジャージの着用は義務となり、次の UCI 規則を準用する。
UCI 規則抜粋
1.3.052 個人総合順位のリーダー・ジャージの使用を義務づける。
1.3.053 リーダー・ジャージの広告スペースは主催者のために留保する。
ただし、「UCI ジャージのビジュアルガイドライン」に記載の通り、競技者/チームが使用するためのスペースが確保される。
1.3.055 bis チームに留保されている広告スペースを除き変更してはならない。
 - ⑧ CJ-U または CJ-1 のシーズン最終大会において次の年間表彰が行われる。
エリート、ジュニア、ユース、マスターズ 30, 40, 50, 60 (女子はマスターズのみ)
ルーキーオブザイヤー (ユースランキングでの 13 歳の 1 位)
- 7.2. ナショナルランキング (個人)
- ① 当該年度の全日本選手権大会および、その他指定された公認大会の高得点大会上位を集計してランキングとする。
 - ② ポイント集計とする対象大会は、全日本選手権大会および当該年度の CJ-U、CJ-1 の大会合計数に 65% を掛けて算出された大会数 (小数点以下は切り上げ) の上位ポイントから算入する。但し大会合計数が 3 大会以下の場合には 3 大会とする。
同ポイントは全日本選手権大会上位、以降 CJ-U、CJ-1 直近大会上位を優先。
 - ③ ポイント表 別表
クロスカントリー・オリンピック開催時での事前のタイムトライアル、ショートトラックおよび、ダウンヒルでのクオリフィケーションについては、それらの合計ポイントを、その大会でのクロスカントリーおよびダウンヒルのそれぞれの獲得ポイントとする。
 - ④ クラス変更があった場合、ポイントの移行は出来ない。
 - ⑤ 全日本選手権大会を除く大会数が 2 以下の場合にはランキングの集計は行わない。
- 7.3. チームランキング
- ① プレミアチームで、エンデュランス系とグラビティ系とに分けて集計する。
 - ② チーム所属競技者 (対象; エリートおよびジュニアクラス) の Coupe du Japon ランキング高ポイント獲得者 2 名の合計ポイントとする。
同ポイントの場合、男子エリート上位、女子エリート上位、男子ジュニア、女子ジュニアの順 (以降繰り返し) となる。
 - ③ CJ-U または CJ-1 のシーズン最終大会において年間表彰が行われる。
8. レジストレーション
大会参加を希望する競技者またはチーム代表者は事前に大会主催者が用意する受付手順により登録する。エントリー情報とエントリーフィーが揃ってはじめてエントリーが完了する。エントリーの締め切りは厳守される。
次の競技者は参加費を免除される。 UCI ワールドシリーズチームの所属競技者。
大会 2 週前にエントリーリストは作成されコミッセルパネルに送付される。
- 8.1 大会会場においてナンバーなどを受け取るレジストレーションを行なう。トレーニングその他の大会での権利はこの後に発生する。この際には有効なライセンスを提示しなければならない。エントリーリストには次の項目が最低限含まれ五十音順となる。
種目 BIB クラス 氏名 フリガナ 生年月日 UCI ID チーム名 JCF 都道府県

9. ナンバー
ナンバープレートは、C J-U, C J 1 大会に最初に参加する際に、配分された番号を年間使用する。ナンバーの改変は許可されていない
競技者は初参加大会時に配布されたナンバープレートを管理し、次回大会参加時に持参する。
ボディナンバーは、大会ごとに配布されるものを装着する。

ナンバーは前年度の Coupe du Japon のランキングにより男子エリート 40 位まで、女子エリート 10 位まで、他のクラスは 5 位までを割り当てる。これら以外は事務局により配分される。

クラスにより次のカラーを使用する。

エリート：白地に黒ナンバー、ジュニア／ユース：青地に黒ナンバー、
マスター：黒地に白ナンバー、アドバンス：緑地に黒ナンバー、チャレンジ：緑地に黒ナンバー
女子全クラス：ピンク地に黒ナンバー

ナンバープレートの紛失、未所持、破損の場合には、コミッセールに申請して新しいナンバーを受け取る。

配布済みのナンバープレートの紛失、未所持の場合には手数料が徴収される。

(仮番号 1,000 円、紛失再発行 2,000 円)

- 9.1. ゴールドナンバー
昨年度 Coupe du Japon ランキング男子エリート 6 位、女子エリート 3 位にはゴールドナンバーを配布する。

10. トレーニング／ウォーミングアップ

- 10.1. 装備
コースには、受付を済ませた者のみ入ることができる。トレーニング時にも、配布を受けたナンバープレートを装着しなければならない。
- 10.2. 最低時間
競技開始前に最低 1.5 時間以上を設ける。ダウンヒルにおいてはトレーニング前に徒歩でのインスペクションを設け、前日に次のクラスではタイムドセッションが行われる場合がある。(エリート、マスターズ、ユース)

11. セレモニー
各公認クラスの上位 3 位を表彰する。マスターズにおいては 35, 40, 50, 60 以上をそれぞれと対象とするが年間登録者が 3 名に満たない場合にはその年代の表彰は行わない。表彰については、原則クロスカントリーの場合には 3 位確定後、ダウンヒルは競技終了後ただちに表彰式を行う。同時時間帯のクラスがある場合にはその最終確定時に行う。他の競技が重なる場合には、次の競技スタート後に行うことがある。表彰対象者の出席は義務である。表彰時には原則競技用、またはチームの服装とし、サングラスなどの顔が隠れるものを原則着用できない。

12. リザルト
大会終了後、2 時間以内にリザルトとリターンフォームを下記アドレスに送付される。
送付リザルトは「csv フォーマット」および「pdf フォーマット」とする。
(文字化け、数値変換を避けるため)

UCI には担当コミッセールが UCI Data Ride サイトにて送付する。(国際公認のみ)
JCF, MTBL には mtb@jcf.or.jp, info@mtb-l.jp に送付される。

13. ファーストエイド
各開催地主催者は少なくとも 1 台の救急車または緊急輸送車を用意し、少なくとも 1 名の医療従事者を要する。
これにかかわらず UCI レースに於いては UCI 規則による。
救護の傷病状況は救護担当者により事故発生連絡表に記録され、連盟派遣のセクレタリーコミッセールに報告しなければならない。

報告先：info@mtb-l.jp

フォーム：http://mtb-l.jp/wp/wp-content/uploads/2016/01/accident_report_form.doc
http://mtb-l.jp/wp/wp-content/uploads/2016/01/accident_report_form.pdf

大会に先立って、開催地主催者は救護体制フローを提出されなければならない。

<https://mtb-l.jp/wp/wp-content/uploads/2024/01/resucueprocedure202401.pdf>

14. 各大会テクニカルガイド
各大会のテクニカルガイドには、次の情報が含まれる。
- ・実施種目、クラス
 - ・スケジュール（レース、トレーニング、マネージャーズ・ミーティング）
 - ・コースマップ（距離、高低差、マッシュポイント、メディカルポイント、F/TA ゾーン）
 - ・会場マップ（本部、受付、表彰、アンチドーピング、救護、リフト、駐車場、他）
 - ・タイミング（使用機器の説明、トランスポンダー、ビーム、フォトフィニッシュ等）
 - ・参加申請方法、締め切り、参加料
 - ・最寄り病院情報（アクセス、連絡先）
 - ・救護関係プロシージャ
 - ・主催者情報
 - ・適用される UCI ポイントスケール（必要な場合）
 - ・適用される UCI 財務規程（必要な場合）

***UCI コンチネンタルシリーズ、UCI ジュニアシリーズ該当大会では、それらのテクニカルガイドも同様に参照される。**

15. クラス昇格について
上位クラスへの昇格については、年間ナショナルランキングを基準とするもの、および各大会の成績等による特別昇格がある

次の成績を収めたもので資格を満たしている者は、シーズン途中の特別昇格対象となる。

- エンデュランス種目とグラビティ種目別
 - 最終戦においてはシーズン中の特別昇格とならないが翌シーズンの上位クラス登録資格を得る事は出来る。
- （大会終了時点でランキングは確定するため）

チャレンジ、アドバンスにおいて

CJ-U 及び CJ-1（全日本選手権内開催含む）の大会における 1 位及び 2 位の競技者。
チャレンジはアドバンスへ、アドバンスは該当するライセンス上の年令クラスへの昇格

年令別クラスとは、次の通り。

エンデュランス系（クロスカントリー等）

男子エリート+男子 U23、男子マスターズ、男子ジュニア、男子ユース

女子エリート+女子ジュニア、女子マスターズ、女子ユース

グラビティ系（ダウンヒル等）

男子エリート（ジュニアを含む）、男子マスターズ、男子ユース

女子エリート（ジュニアを含む）、女子マスターズ、女子ユース

昇格希望者は、大会終了後速やかに、info@mtb-l.jp に必要事項を送付し、次回大会より昇格したクラスにて競技を行う。次大会が開催された時点、または最終集計大会開催の二週間後までに昇格の申請を行わない場合には権利は消失する。

最終集計大会での昇格は、その時点でシーズンが終了しているために昇格申請は反映されないが次シーズンでの登録資格として記録される。

送付必要事項：

氏名、チーム名、ライセンス番号、種目、現クラス、昇格希望クラス、昇格権獲得大会日付、昇格権獲得大会名、昇格権獲得の順位

上記以外に、過去を含む公認大会等での成績を元に昇格審査を申請することができる。
この場合も上記の必要事項に加えて成績を証明するものなどを送付する。

16. クロスカントリー・オリンピック (XC0)

16.1. クラス統合 (コンバインドルール)

各クラスとも大会事前受付時に5名に満たない場合には、上位クラスへ、上位が少ない場合には下位クラスと統合して競技を行う場合がある。統合されたクラス名は上位クラスのものとなる。競技者は統合されたクラスにて獲得した順位により表彰、ポイントを受ける。ポイントについては自身のクラスでのランキングに反映される。

この規則にかかわらず、テクニカルデレゲート、プレジデント・オブ・コミッセルパネル、レースディレクターの三者協議において安全面、合理的理由により統合を行わない場合がある。その場合にはクラスごとの順位が発表される。

(テクニカルデレゲートが任命されない場合は二者協議に於いて決定する)

16.2. 競技時間帯

競技一日開催、各時間帯での競技進行推奨例。

前日 レジストレーション
最低1. 5時間のトレーニング (コースオープン)
16:00- クロスカントリーショートトラック (男子エリート/女子オープン)
17:00- チーム・マネージャーズ・ミーティング

当日

07:30-10:00 レジストレーション (第2時間帯のスタート30分前に締切る)

07:30-08:30 オフィシャルトレーニング (クロスカントリー)

第1時間帯 (1.5h)

09:00- 男子アドバンス (-1:00)、男子チャレンジ (-1:00)、男子オープン
(80%、ラップドライダーを排除しない形式でのレースを推奨)

第2時間帯 (1.5h)

10:30- 男子ユース (-1:00)
男子マスタートズ (-1:15)

第3時間帯 (1.5h)

12:00- 女子エリート (1:20-1:40)、女子ジュニア、マスタートズ (1:00-1:15)
女子チャレンジ、ユース (-1:00)

第4時間帯 (0.5h)

13:30- キッズレース等

この時間帯を30minとして市民参加型などを含むことができる。必要であれば、全体のプログラムスタートを30min程度早めるなどの調整が必要である。これらの参加者は臨時登録として扱う。

第5時間帯 (2h)

14:15- 男子エリート (1:20-1:40)

14:20- 男子ジュニア (-1:15 / UCIレースにおいては第3時間帯を使用する場合がある)

16:00- 終了予定

16.3. ステージング

最新ランキングによりステージングを行う。競技者はステージング開始前に指定されたボックスにて待機する。1ボックスは最大30名

オーダー優先は次の通り

0: 前日に行われたXCCの上位8位まで (男子エリート)

1: UCI個人ランキング

2: UCIネーションランキング (各国1名づつ)

3: ナショナルランキング (シーズン最初のCJ-UまたはCJ-1までは前年度ランキング採用)

4: 下位クラスからの昇格者上位から

5: その他 (配分番号順、受付順等)

*全日本選手権大会はどう大会のテクニカルガイドによる。

16.4. ユース、カデットの推奨競技時間は次の通り

男子 25分~35分

女子 25分

小学生高学年 20分~30分

小学生低学年 10分~20分

*IMBA (国際マウンテンバイク協会) による推奨競技時間。天候によりこの限りではない。

- 16.5. フィード／テクニカルアシスタンス・ゾーン
ダブル・レイアウトを強く推奨する。
ゾーンは、**プレミア（ナショナルチーム等を含む）** およびスタンダードのゾーンに区分される。
プレミアゾーンへは発行されるパスが必要。パスは年間、または大会において担当コミッサー
より配布される。年間パスの発効があった場合には、再発行に際して実費が必要となる。
主催者はニュートラル・フィードゾーンを少なくとも1か所を設置し、競技者に飲料水を提供
しなければならない。
**競技者は、安全に注意しながら、主催者がゾーンの最終エリアに設置するごみ捨て区域にのみ
廃棄できる。**
- 16.6. 80%ルール
男女エリートにおいては80%ルールを適用する。
適用しない場合は、先頭の競技者がフィニッシュすることをもって競技終了とする。その時点で、
以降すべての競技者は新たな周回に入ることはできない。
同じ時間帯にて複数のクラスが同じ周回数にて競技する場合に、いずれかのクラスの
先頭走者のフィニッシュをもって、他のクラスも同様にフィニッシュさせる場合がある。
これらの適用については、TDまたはPCPとレースディレクターにより協議される。
- 16.7. クロスカントリー・ショートトラックが前日に行われるCJ-U, CJ-1のクロスカントリー・
オリンピックの場合には統合されたポイントがその大会のランキングポイントとなる。
- 16.8. クロスカントリー・エンデュランス
国内クラスにより、次の方法により行われるクロスカントリー競技を行う場合がある。
- 競技は2クラス以上を同時マスドスタートで行われる。周回数は1周目のリーダータイムにより、
または事前に決定し、その順位を競うもの。80%ルール、ラップアウトの適用は行わない。
同時出走となるクラスに関わらず最速の競技者を周回数、およびフィニッシュの基準とする。

* 2025シーズンでいくつかの大会にて採用されたアドバンス、チャレンジの
同時スタート形式のクロスカントリーです。
従来、80%または周回遅れの競技者は除外されておりましたが、基本周回内で
存分にコース、レースを楽しんでいただけます。
もちろん上位に入れば表彰や、昇格対象であること、ポイント付与については
従来どおりで変わりありません。

17. クロスカントリー・ショートトラック XCC

17.1. クロスカントリー・ショートトラックは、単独またはクロスカントリー・オリンピック競技が行われる大会において、その前日までに実施されることがある。

17.2. CJ-U, CJ-1 において行われる場合のクラスについては次の通り

男子エリート

同大会のクロスカントリー・オリンピックに参加申請された者の中から、直近ランク順の最大上位 24 名（追加エントリーフィー無し）が参加する。（ランキングは UCI、ナショナルの順に適用）

その他のクラス

ランキングや、スタートリストへの反映がされないクラスが行われることがある。これらのクラスは参加人数によりクオリフィケーション、ファイナルと構成される場合がある。

これらクラスごとの結果はポイントランキングに反映される。

17.3. デュレーション

コースは最大 2km で競技時間は 15-30 分、80%規則を適用する。

17.4. クロスカントリー・オリンピックのスタートリスト反映

CJ-U, CJ-1 において行われる XCC 男子エリートの結果の上位者の順位がそのままクロスカントリー・オリンピックにおいてのオーダー上位者となる、以降は既存ルールが適用される。

17.5 クロスカントリー・ショートトラック（XCC）競技においては、フィード/テクニカルアシスタンスゾーンの設定は行わない。

18. ダウンヒル（2026年のダウンヒル競技のCoupe du Japonでの予定はありません）

18.1. 競技形態

次のクラスは、各クオリファイイング・ラウンド（予選）とファイナル（決勝）を行う。

男子ユース	ファイナル進出者 5名
男子マスターズ	ファイナル進出者 10名
女子エリート（ジュニア含む）	ファイナル進出者 10名（最大13名）
男子エリート（ジュニア含む）	ファイナル進出者 30名（最大41名）

チャレンジ、アドバンスはファイナル（決勝）1本の走行による。

18.2 スーパーエリート

男子エリート、女子エリートに於いては、エントリーされた競技者のうち、次の競技者をスーパーエリートとして、

① 最新UCI ランキングにおいて男子エリート50位内の上位4名、女子30位内の上位2名。

② 最新UCI ランキングにおける日本国籍の男子上位4名、女子2名。

③ 最新ナショナルランキングにおいて男子エリート3位まで、女子1位。

の競技者はファイナルに自動的に参加資格を得る。

いずれの場合も、クオリファイイング・ラウンドにおいてDNSの場合には権利が消失する。

これらの自動昇格によるファイナル進出者のスタート順は男子エリートでは15番以降に設定する。

18.3 競技時間帯

競技一日開催、各時間帯での競技進行推奨例。

前日	レジストレーション コースインスペクション（徒歩のみ） 最低2時間のトレーニング（コースオープン）
15:30-	タイムド・セッション（スーパーエリート、エリート、ジュニア、マスターズ、ユース）
17:00-	チーム・マネージャーズ・ミーティング
当日	
08:00-08:30	レジストレーション
08:30-09:00	コースオープン（チャレンジ、アドバンス、マスターズ、女子ユース）
09:00-09:50	コースオープン（全クラス）
09:50-10:45	コースオープン（男女エリート、男子ユース）
11:30-	競技開始 ファイナル：チャレンジ、アドバンス クオリファイ：男子ユース、男子マスターズ、女子エリート、男子エリート
14:30-	ファイナル：男子ユース、男子マスターズ、女子エリート、男子エリート
16:00-	終了予定

*各クラス間の最低インターバルは3分。

*スタートの間隔はクオリファイ 30秒、ファイナル1分を標準とする。

19. アンチドーピング

いずれの公認大会でもアンチドーピング検査実施の可能性は否定されない。

- ・競技会参加者（18歳未満の競技者を含む。以下同じ）は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程に従い、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなす。18歳未満の競技者については、競技会への参加により親権者の同意を得たものとみなす。
- ・競技会に参加する18歳未満の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携帯すること。親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構（JADA）のウェブサイト（<https://www.playtruejapan.org/jada/ul8.html>）からダウンロードできる。18歳未満の競技者はドーピング検査の対象となった際に、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員に提出すること。なお、親権者の同意書の提出は18歳未満時に1回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出ること。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後7日以内にJADA事務局へ郵送にて提出すること。親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続に一切影響がないものとする。
- ・競技会参加者は、競技会において行われるドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになる。
- ・競技会・競技会外検査を問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技／運動終了後2時間の安静が必要となる。
- ・日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト（<https://www.playtruejapan.org>）にて確認すること。

公益財団法人日本自転車競技連盟／アンチドーピングのページ
<https://jcf.or.jp/jcf-action/anti-doping/>

公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構
<https://www.playtruejapan.org/>

20. その他

- 1) 公認大会での成績は連盟強化指定選手選考の参考とする場合がある。
- 2) 大会中の疾病および負傷については応急処置を行うが、その後の治療費等は本人の責任とする。
- 3) 健康保険証を持参すること。
- 4) タイム・テーブル、注意事項等はコミュニケとして必要に応じ随時ノーティスボード、大会ウェブサイトにて発表するので、各自十分注意すること。
- 5) チームマネージャーズ・ミーティングの出席者は、競技者本人あるいは参加申込書記載のチームの関係者で公益財団法人日本スポーツ協会公認コーチあるいはJCFライセンス保持者とする。
- 6) 主催者は、会場での盗難紛失等のトラブルについては一切責任を負わない。
- 7) 大会当日の公共交通機関、道路事情等による遅刻については、主催者は一切責任を負わない。
- 8) 登録された個人情報、保護法令を遵守し、参加者の個人情報を取り扱う。これは資格の確認及び大会にかかわる諸連絡を行うほか、氏名、生年月日、所属、競技成績、競技歴、写真などをポスター、プログラム、コミュニケ等で掲載する他、新聞社等マスコミ関係各社に情報を提供し、メディアに記載される場合がある。
- 9) 大会における肖像権は公益財団法人日本自転車競技連盟、一般社団法人MTBリーグ、開催地主権者に帰属する。
- 10) 自然な条件で開催される競技であり、雨天や降雪などの場合でも基本的に大会は開催される。ただし、台風のような荒天、天災など安全確保が難しいとテクニカルデレゲート、コミッセルパネル、大会主催者、施設運営者が判断する場合に中止とすることがある。中止になった場合にも参加費の返金は行わない。
- 11) 大会実施会場への入退場については主催者、運営スタッフの指示に従って行うものとする。
- 12) 主催者が許可されたものを除き会場内に次のものを含む持ち込みを禁止する。
爆発物、火器類、スタンガンその他の危険物。政治的、宗教的主義、主張、差別的、侮辱的な内容が表示、または連想させる掲示物等
- 13) 大会に関して次の行為は禁止する。
競技者、チーム関係者、オフィシャル、観客その他関係者への加害、暴行、暴言、威嚇、付きまとい、その他迷惑行為。
- 14) 会場での写真、動画撮影についてのフラッシュ使用などによる競技運営の妨げ、公序良俗に反する撮影と見られる行為。
- 15) その他迷惑行為および主催者、コミッセルパネルの指示に反する行為を禁止します。
これらガイド及び競技規則に対する違反に対しては競技会場から違反者を除外することがあります。
- 16) 本記載項目は、改善のためなどのために予告なく変更されることがある。最新版については一般社団法人MTBリーグホームページ（<http://www.mtb-l.jp>）にて記載される。

- * マウンテンバイクは難易度の高いスポーツであることを認識してください。
マウンテンバイクコースは、岩や木の根、激しい路面のうねり・凸凹や山の傾斜、人工的なセクションなど、様々な自然的要素と幾つもの人工的要素により設定され、天候によってもそれらの状況は変化します。
ライダーは自分自身の判断や責任において危険を回避する義務があります。

これらのコースを走行する際にはマウンテンバイクとして適正に製造され、また十分に整備された機材を使用してください。

コース内で転倒をしてしまった場合、二次事故（後方からの追突など）を避けるため、コース外または端に退避してください。

メカトラブルなどにより自走困難となった場合には、後続のライダーに注意を払いコース外を歩いて移動しスタッフ、マーシャルに連絡してください。

他者のアシストを必要とする事故を目撃した場合には一番近くのスタッフ、マーシャルに連絡してください。

けが人の救助活動のため競技中であってもコース内に車両が進入する場合があります。指示があった場合には指示に従ってください。

	全日本選手権大会, CJ-U, 全日本併催 CJ XC0, DHI ・ クラス共通	CJ-1 XC0, DHI ・ クラス共通 JOC ジュニア、ユース	全日本選手権大会等 下記クラス設定時 XC0 U 2 3	全日本選手権大会, CJ-U, CJ-1 における XCC (男子エリート), XCE (トーナメント 進出者のみ適用)	全日本選手権大会, CJ-U, CJ-1 における DHI クオリファイ 他指定特別併催種目 (男子エリート XCC 除)
1	300	250	200	75	20
2	240	200	150	60	17
3	210	175	125	53	15
4	180	150	100	45	13
5	168	140	75	42	11
6	156	130	60	39	10
7	144	120	50	36	9
8	120	100	40	33	8
9	108	90	30	30	7
10	102	85	27	27	6
11	96	80	24	24	5
12	90	75	21	21	4
13	84	70	19	19	3
14	78	65	17	17	2
15	72	60	16	16	1
16	66	55	15	15	-
17	60	50	14	14	
18	54	45	13	13	
19	48	40	12	12	
20	46	38	11	11	
21	44	36	10	10	
22	41	34	9	9	
23	39	32	8	8	
24	36	30	7	7	
25	34	28	6	6	
26	32	26	5	5	
27	29	24	4	4	
28	28	23	3	3	
29	27	22	2	2	
30	26	21	以降 1	1	
31	25	20		-	
32	24	19			
33	23	18			
34	22	17			
35	21	16			
36	20	15			
37	19	14			
38	18	13			
39	17	12			
40	16	11			
41	15	10			
42	14	9			
43	13	8			
44	12	7			
45	11	6			
46	10	5			
47	9	4			

48	8	3
49	7	2
50	6	以降 1
51	5	
52	4	
53	3	
54	2	
55	以降 1	

●チーム登録競技者の事故報告（傷害保険手続き）について

公認大会での負傷等についての保険請求手続きは、次のサイトより記入して送信してください。
<https://forms.gle/SQJBa9qxVVR4SLS8>

または、下記の内容を本人または代理人より電子メール（info@mtb-l.jp）にて送付願います。
 題名は、保険請求（****大会 氏名）としてください。
 連盟ではメール情報確認後、スポーツ安全協会へ連絡し、その後2週間ほどでスポーツ安全協会の保険幹事
 代理店より申請された住所へ「傷害保険金ご請求のご案内書」を送付します。
 治療が終了しましたら必要事項を記入・押印、必要書類（領収証、返信用封筒等）を添えて事務局宛に郵送
 ください。

103-0005 東京都中央区日本橋久松町 13-6-501
 一般社団法人MTBリーグ 保険申請係

=====

チーム名
 氏名&フリガナ
 生年月日
 年齢
 郵便番号
 住所
 マンション・ビル名
 電話番号（自宅等）
 電話番号（昼間に連絡がつくもの）
 事故発生日
 事故発生の時刻（●時頃など）
 事故発生場所
 事故の状況
 何をしているとき
 何が起きて
 どのようになったか
 （何が原因で、どの様になったのかを詳しく記載。「レース中、最終コーナーでスリップして転倒」など詳
 細に）
 けがの部位（大分類） 頭、首、胸、背、右肩、右腕、右手、左肩、左腕、左手、腰、右足、左足
 けがの部位
 けがの傷病名
 治療期間（見込み）入院（ ）日。通院（ ）日
 治療病院名（複数可）

=====

本件に関する個人情報、東京海上日動火災保険株式会社に送信され、保険引受の判断および損害サービ
 スの提供（関係先への照会等の事実関係の調査や関係する損害保険について損害保険会社間での確認を含
 みます。）を行うために利用させていただきます。
 保険内容の詳細については、スポーツ安全協会のサイトよりご確認ください（加入区分 AW または C）

●2026 各クラス登録資格設定

これら各クラス毎に設定されている基準を満たしたものが、それらの各クラスに登録が可能である。

共通基準

- 1) UCI 規定 13 歳以上の年令(当該年 12 月 31 日現在 13 歳以上)の公益財団法人日本自転車競技連盟競技登録者(通年)であり、マウンテンバイク・チーム登録手続きを済ませた競技者。
- 2) ここでいうナショナル・ランキングとは、毎年 1 月 1 日より 12 月 31 日までの期間に於いて、JCF ランキング制度に基づく該当大会ポイント集計によるものである。
- 3) 日本登録以外の UCI 加盟国連盟の競技登録者については MTB リーグ選定による。
- 4) 本資格設定におけるナショナル・ランキングについては国内登録者を対象とする。そのために海外臨時登録者などマウンテンバイクチーム未登録者はこの基準に含まず、繰り上げが行われる。

●エンデュランス(クロスカントリー)

男子エリート(19 歳以上-U23 含む 2007 年以前生まれ)

- 1) 2025 年ナショナル・ランキングによる資格者
 - 男子エリート 1-60 位までのポイント獲得者。
 - 男子ジュニア 1-10 位までの年令対象者(19 歳)
 - 男子マスターズ 1-5 位までの競技者。(マスターズを選択しない場合)
 - 男子アドバンス 1-5 位までの年令対象者(19 歳)
- 2) UCI 個人ランキング(クロスカントリー・エリートおよびジュニア)保持者
- 3) UCI 登録チーム所属の競技者
- 4) 2025 年男子アドバンスよりの既途中特別昇格者
- 5) MTB リーグ特別推薦者
- * 全日本選手権大会または国際 C1 指定大会では U23・クラスを別開催
- * 年度途中でのマスターズ、エリート間のクラス変更は不可

男子ジュニア(17-18 歳 2008 年-2009 年生まれ)

- 1) 2025 年ナショナル・ランキングによる資格者
 - 男子ジュニアポイント獲得者
 - 男子ユースポイント獲得者で年令対象者
 - 男子アドバンスポイント獲得者で年令対象者
 - 男子チャレンジポイント獲得者で年令対象者
- 2) UCI 個人ランキング(クロスカントリー・ジュニア)保持者
- 3) MTB リーグ特別推薦者
- 4) 他年齢該当者

男子マスターズ(35 歳以上 1991 年以前生まれで、このクラスを選択した競技者)

- 1) 2025 年ナショナル・ランキングによる資格者
 - 男子マスターズポイント獲得者
 - 男子エリートポイント獲得者で年令対象者
 - 男子アドバンスポイント獲得者で年令対象者
 - 男子チャレンジポイント獲得者で年令対象者
- 2) 2025 年アドバンスよりの既途中特別昇格者
- 3) 2025 年男子マスターズ登録者、エリート登録者で年令対象者*
- 4) MTB リーグ特別推薦者
- * 年度途中でのマスターズ、エリートの相互クラス変更は不可
- * UCI 登録チームメンバー、同年の UCI 個人ランキング保持者は未資格

男子ユース(13-16 歳 2010 年-2013 年生まれ)

- * 共通基準のみ

男子アドバンス(19 歳以上 2007 年以前生まれ)

- 1) 2025 年ナショナル・ランキングによる資格者
 - 男子アドバンスポイント獲得者
 - 男子ジュニアポイント獲得者
 - 男子チャレンジ 1-5 位までの競技者
- 2) 2025 年男子チャレンジよりの既途中特別昇格者
- 3) 2025 年男子エリートの登録者で当該年度基準に該当しない者
- 4) MTB リーグ特別推薦者

男子チャレンジ(19 歳以上 2007 年以前生まれ)

- 1) 2025 年度チャレンジ登録者
- 2) 他のクラス基準に該当しない者
- 3) 新規登録者

女子エリート(19 歳以上-U23 含む 2007 年以前生まれ)

- 1) 2025 年ナショナル・ランキングによる資格者
 - 女子エリート、女子マスターズ、ジュニア、チャレンジ、ポイント獲得者
- 2) UCI ランキング(クロスカントリー)保持者
- 3) UCI 登録チーム所属の競技者

- 4) MTBリーグ特別推薦者
* 全日本選手権大会、国際C1大会ではU23・クラスを別開催する場合がある
* 年度途中でのマスターズ、エリートの相互クラス変更は不可。

女子ジュニア（17-18歳 2008年-2009年生まれ）

- * 共通基準のみ

女子マスターズ（35歳以上 1991年以前生まれ、このクラスを選択した競技者）

- 1) 2025年女子エリート、マスターズ登録者で年令対象者
 - 2) 2025年チャレンジ・ランキング、ポイント獲得者
 - 3) MTBリーグ特別推薦者
- * 年度途中でのマスターズ、エリートの相互クラス変更は不可
* UCI登録チームメンバー、同年のUCI個人ランキング保持者は含まれない

女子ユース（13-16歳 2010年-2013年生まれ）

- * 共通基準のみ

女子チャレンジ（19歳以上 2007年以前生まれ）

- 1) 2025年女子チャレンジ登録者
- 2) 他のクラス基準に該当しない者
- 3) 新規登録者

- * 各ランキング参照に於いては年齢クラスに関係なく総合の順位が基準となる。
* UCI登録チーム所属の競技者はエリートとなる。
* 特別昇格は別途、昇格手続きを行う必要がある。（年度最終大会（CJ-1）での取得者等）

以上